

## 手話奉仕員養成講座 共に住みやすい社会を目指して

6月7日、市役所で4年度の手話奉仕員養成講座(基礎課程)が開講し、14人が参加しました。全24回の講座を通して、耳の聞こえない方の生活を知るとともに、日常会話に必要な手話表現などを学んでいきます。

### 【出張手話教室のご案内】

学校や職場などへ訪問し、手話教室を開催しています。初めて手話に接する方にも分かりやすい内容ですので、申し込みください。

問・申保健福祉部 社会福祉課 ☎81-2273



## 田村の魅力を発信 第9期田村市観光キャンペーンクルー決定

6月12日、第9期田村市観光キャンペーンクルーの選考会が市役所で開かれ、5人の観光キャンペーンクルーを決定しました。選考会後、認定式が行われ、市長から一人一人に認証状を手渡しました。観光キャンペーンクルーは、市の観光や物産情報、市内イベントなどを県内外にPRし、田村の魅力を発信します。任期は6月6月30日までです。

第9期田村市観光キャンペーンクルー(順不同)

- ・村越 芽生さん ・菅野 千恵子さん ・平 紘大さん
- ・吉田 夏樹さん ・佐久間 優衣さん



▲左から平さん、村越さん、佐久間さん、菅野さん、吉田さん

## F2 サミット事前研修 百間は一見にしかず、現地学習

6月26日、第2回F2サミット事前研修会が開かれました。今回は「田村の人に学ぶ」という企画で、市内で志をもって活躍されている方々を訪問し、「田村のよさをもっとよくしたいところ」「田村で事業を展開する理由」などの話を伺いました。訪問後は市役所に戻り、グループごとに学習した内容をまとめ発表しました。

F2サミットは8月8日(月)・9日(火)に、市役所と県環境創造センターで開催し「ふくしま12市町村」の中学生と福島や地域の未来について語り合います。



▲がもう農園(滝根町)で話を聞く様子

## 市エゴマ振興協議会 エゴマの苗を定植

6月22日、田村市エゴマ振興協議会(根本君江会長)の会員が市内の畑にエゴマの苗を定植しました。一本一本丁寧に植えられた苗は、順調に育てば真夏に人の背丈ほどの大きさになり、青々とした枝葉を茂らせます。そして、秋にはエゴマの実が収穫でき、エゴマ油や加工品の原料となります。

市内のエゴマは健康によい成分がふんだんに含まれ、生産・加工・販売など振興も盛んです。協議会では、今後も特産のエゴマを広くPRし、誰もが健康で笑顔が絶えないような地域づくりを目指します。



## 人権啓発講演会 中学2年生が人権に対する関心と理解を深める

7月12日、市文化センターで人権啓発講演会が開かれ、市内中学2年生276人が参加しました。講師に福島大学教育推進機構 高等教育推進企画室准教授 前川直哉さんをお招きし「誰もが生きやすい社会へ～多様な性と性的マイノリティ」と題して講演いただきました。「性の在り方が大多数の人と異なることは、医学的に異常ではない。身近に『いない』のではなく『言えない』人がいるので、『言っても言わなくても大丈夫』と温かく見守ってください」と呼びかけました。



## 「人権の花」運動 人権擁護委員が小学校へ花の苗などを寄贈

6月1日・3日、市の人権擁護委員から市内5つの小学校に花の苗、プランターと培養土を寄贈しました。この事業は、児童がお互いに協力して花を育てることで思いやりの心を育み、人権尊重について理解を深めてもらうことを目的に行っています。

このうち都路小では、児童が協力しながらプランターへ植えつけました。これからも大事に育ててください。



## 要保護児童対策地域協議会 委員17人に委嘱状を交付

6月23日、市役所で田村市要保護児童対策地域協議会代表者会議が開かれました。

県中児童相談所長ほか16人に委嘱状が交付され、要保護児童への理解、協議会の現状と各機関の役割について共有を図りました。

また「児童相談所における関係機関との情報共有、初動対応、方針決定のあり方について」をテーマに研修を行いました。



## 企業と学校との懇談会 採用に向け、活発な情報交換

6月30日、市内立地企業と高校・専門学校進路指導担当教諭などの懇談会が市総合体育館で開かれました。

この事業は、企業の求める人材確保と新卒者の雇用創出を図り、地域雇用に係る情報共有を目的に毎年行われているものです。

船引高校をはじめとする11校19人の進路指導担当教諭と、市内立地企業27社の雇用担当者が出席し、新卒者の採用に関する活発な情報交換が行われました。

